

# クローバーだより

2023年4月28日  
名古屋柳城短期大学附属  
三好丘聖マールゴレット幼稚園  
水野 みちこ



## 人との関わり【愛着を築くことは・・・】



0・1歳時期に家族や園の先生など特定の大人との間で愛着が形成され、基本的な信頼関係を構築していきます。愛着形成は生涯を通じた『自己肯定感』や『信頼感』『やり抜く力』など、いわゆる非認知能力を育むことにもつながります。私たち大人は子どもからのサインを丁寧に受け止め、気持ちを込めて温かく応じることが大事です。



### ♡1歳6ヶ月頃～2歳頃の発達のポイント♡

#### \*「子どもの思い」を代弁

思いが通らず泣くこともしばしばです。そのような時「このようにしたかったのね 今度やってみよう」「自分でできるんだね。後でやろうね」と思いを代弁することで子どもの気持ちは落ち着きます。



#### \*ありのままを認める

子どもは、自分の思いや考えを受け止めてもらい、愛されてこそ、個性を発揮し、自己実現をすることに喜びを感じるようになります。愛着形成が不十分な子どもは、甘えたい、愛されたいという思いが続きます。子どものシグナルをありのまま受け入れ、応答的に関わるようにするといいです。



#### \*甘えたい気持ちを受け止める

かんしゃくを起こす、駄々をこねるなどの行動に振り回されがちになります。甘えたい、自分でやりたい、思い通りにいかないなどの子どもの気持ちを受け止め、わがままにはき然とした態度で臨み、甘えたい気持ちに応えるようにする。

家事に子育てに忙しい毎日です。無理せず心に余裕があるとき、お子様との時間を楽しんでください。



ひでちゃん  
直伝!



たくさん作ろう!

想像を形にして楽しもう!

# 新聞紙遊び

新聞紙工作の魅力は、「作る」＝自分が想像したことを形にする楽しさと、「遊ぶ」＝作った作品でごっこ遊びなどをして想像の世界に入り込む楽しさの両方にあります。この特集では、「作る」「遊ぶ」の2つをキーワードに、新年度におすすめの新聞紙遊びアイデアをお伝えします。

新連載  
「ひでちゃんの造形活動  
お悩みレスキュー」(P.84～)も  
要Check!

案/ やおいひでひと 矢生秀仁 (こども環境デザイン研究所代表)  
保育所・幼稚園を中心に、造形遊びの実践と職員向けの研修をおこなっている。著作に、絵本『たんけんハンドル』シリーズ (偕成社) がある。

## 新聞紙が遊びの素材としておすすめのワケ

### 立体物も作れる万能素材

新聞紙を使った造形や遊びというと、丸めてボール遊び、ちぎってプール遊びなどが一般的ですが、それ以外にも、新聞紙は粘土のような感覚で使うことができます。この特集を読めば、新聞紙＝いろいろな立体物が作れる万能素材であることがわかるはず!

### 何度も作れて失敗もできる

新聞紙は、園で集める、家庭や近隣に分けてもらうなど、予算をかけずにたくさん準備することができます。手軽で豊富ということは、子どもたちは何度も作ったり、失敗できるということ。作るほど経験値も増えますし、失敗してもいいという気持ちは、安心感を生みます。

### 破れてもすぐに直せる

新聞紙は、破れやすい素材。扱いにくいと思われかもしれませんが、見方を変えれば、新聞紙にふれることは、自分の力を微調整する機会になります。また、破れてもテープで貼れば丈夫になります。つまり、破れる=失敗ではなく、「破れても直せばいい」という前向きな考え方がつながります。

### 想像力をフル活用

新聞紙の基本色は、グレーです。また、形は既製のおもちゃのようにカチッと決まっています。その分、自分の想像力を動かしているいろいろなものに見立てることができる素材といえます。

## 新聞紙工作のポイント

新聞紙は、この6つの動きでほとんどの形を作ることができ、できた形を組み合わせると、いろいろなものが作れます。



### 《子育て相談》

自分の子育てにこれでいいのかな?と不安に思われた時、こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか? 保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、ご都合の良い日を決めさせていただきます。

TEL 0561-36-8373 お電話お待ちしております